

第 学年 組 英語科学習指導案

日 時 令和 年 月 日 () 第 校時

場 所 年 組教室

指導者

1 単元名

(教科書の単元名／例：NEW CROWN 1 Lesson 5)

2 本時の目標

(生徒を主語に「～することができる」で1文。文法名ではなく、その文法で何をするかを書く)

3 本時の評価規準

知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※ 本時で見る観点は1～2つに絞る。態度は挙手の回数ではなく行動で書く。

4 本時の展開 (/ 時間目)

段階・時間	学習活動 (生徒の行動)	指導上の留意点 (教師の手立て)	評価 (方法)
導入 (分)			
展開 (分)			
まとめ (分)			

※ 合計は50分ぴったりに。遅れたときに削るところを留意点に1行書いておく。評価の列は2～3か所で足りる。

5 板書計画

--

6 準備物 (ワークシート・例文カード・投影スライド・タイマー など)

〔細案のときだけ書く項目〕

単元の目標

（単元の終わりに生徒ができること。1文、または3観点で1文ずつ）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

※ 本時の評価規準は、この表から本時で見る1～2観点を抜き出して、本時の活動の言葉で書き直す。

生徒観

（目標に届かせるうえで気になる実態だけ。学級全体の褒め言葉ではなく、本時の手立てにつながる事実を）

教材観

（扱う題材・言語材料が、本時の目標にとってなぜ適しているか。自分のクラスにとっての意味を1文足す）

指導観

（生徒観と教材観を受けて、本時で打つ手立て。展開表の「指導上の留意点」と一致させる）

単元の指導計画（全 時間）

時	学習内容	評価
1		
2		
3		
4（本時）		
5		

書く順番は「本時の目標 → 評価規準 → 展開表 → 単元の指導計画 → 生徒観・教材観・指導観」。
書き方の解説と記入例（略案・細案のプレビューつき）：英語教材ラボ「中学英語の学習指導案の書き方」
<https://eigo-kyozai-lab.com/tokushu/eigo-gakushu-shidoan>
展開表に写せる50分の授業案：<https://eigo-kyozai-lab.com/materials/type/lesson-plan>
このテンプレートは自由に編集・配布して構いません（Word版・PDF版とも無料・登録不要）。